

民家の上に39万立方メートルの砂が!

菅仙谷1丁目に土砂災害の危険

よみうりランドの遊園地内の巨大な埋め立て計画

かわら版すげ

2010年1月
市議会報告
日本共産党
市会議員
井口まみ

(発行)
日本共産党市会議員団
川崎市川崎区宮本町1
電話 200-3360
FAX 245-4140
http://www.iguchi-mami.jp

住民の皆さんが中止の陳情を議会に提出 市も「危険性を認識している」

昨年八月、よみうりランド遊園地の真ん中に巨大な埋め立て計画があることがわかりました。いまの野外ステージなどを埋めつくす、面積4・6ヘクタール(東京ドームと同じ)、土砂の量三九万トンという巨大な規模です。この場所は、菅仙谷1丁目の谷戸の上であり、万一崩れたら一気に土砂が流出するという危険なところで、過去にも被害を経験した菅仙谷の皆さんが、中止を求める陳情を市議会に提出。十一月に市議会環境委員会で審査が行われました。

土砂災害の危険性高い「稲城砂」による埋め立て

埋め立てに使われる土砂は、お隣稲城市南山で計画されている大規模な住宅地の開発残土です。これが「稲城砂」といわれ、もろくて崩れやすく扱いにくい砂として有名なのです。南山では開発地に埋め立てるときは特別の工法を使って固めながら埋め、雨の日は工事してはいけないと東京都の第三者委員会から指摘されている危険な砂です。

（株）よみうりランドが川崎市に提出している「環境影響評価準備書」では、この砂の特殊性については触れておらず、工事の安全性も考えられていません。

菅仙谷で過去何度もランドから洪水や土砂流出が

万一、この埋め立て地が崩れると、小沢城址のふもと、菅仙谷1丁目に流れ込む地形になっ



菅仙谷谷戸から見た計画地。計画では、遊園地内の野外ステージも埋め立てる(点線のあたりまで)ため、ジェットコースターの一番高い部分と、観覧車の頭しか見えなくなる

ており、実際に昭和三十三年や四十一年など、何回もよみうりランドから水があふれ、被害を受けたところ。液状化により、三九万トンもの土砂が流れ出れば、家屋の二階まで埋まってしまうという試算も出されており、「絶対にやめてほしい」と、署名もあつという間に千三百名を越え、市議会に提出されました。

委員会の審査では、住民の皆さんが事前に環境局やまちづくり局にこの砂の危険性の資料を届けておいたため、環境局長は「稲城砂の危険性は認識している。細心の注意を払ってすすめた」と答弁。埋め立ての技術的な指導を行うまちづくり局も「東京都の基準は勉強する」と答えるなど、この審査の中で、稲城砂の危険性を川崎市に認識させることができた。

故意に工事範囲を小さくしている?

委員会です。川崎市の条例では1ヘクタール以上の埋め立ては環境影響評価(アセス)という手続きを行います。5ヘクタール未満では「準備書」を出して、市民の意見を聞いて終わりにできます。しかし、5ヘクタールを越えようと、公聴会や市の審議会を経なければなりません。今回は4・6ヘクタール。しかし、隣接する調整池も同時に改修され、これを加えると5ヘクタールを超えることから、これは「アセス逃れ」ではないか、と日本共産党の佐野議員が指摘しました。か

つて川崎市は岡本太郎美術館の建設時に、建設地に隣接する仮設道路を工事面積に加えず、意図的にアセス逃れをした前科があり、それに似た形になっています。

委員会では「継続審査」に

委員会では、アセスの手続きの中で、市民意見が出されてそれに対する見解書を事業者が作成しているところなので、その見解書を持ってもう一度審議するということで、「継続審査」になりました。問題点山積のこの問題、ひきつづき議会ですっきり議論していかなければなりません。署名も引き続き集められており、さらに議会に積み上げることが期待されます。

年末、環境局長に会う

十二月二五日、住民の皆さんが環境局を訪れ、局長に直に申し入れを行い、井口議員も同席し、住民の意見をよく聞くよう申し入れました。環境局長は「議会で再度審議されるので、その意思に従う」「よみうりランドに対し、住民に説明するよう指導する」などとこたえました。

菅中学校のプールの老朽化 武道場と合築で改善を

井口まみ議員が求める —12月市議会—

十二月市議会の一一般質問で、井口まみ市議員は、老朽化した菅中学校のプールの改善を求めました。菅中のプールは学校敷地の一番端の飛び出したところにあり、住宅にすっきり囲まれています。近隣に騒音が響き、道路にも面して防犯上も問題があります。老朽化が進み、水がすぐ汚れてしまつと問題になっていました。

井口市議はこの改善を求めるとともに、

「この機会に近隣に迷惑をかけない場所にところに移し、その際、一階に要望の強い、武道場や集会施



質問する井口議員(写真上)と菅中学校のプール(写真下)

設、二階にプールという教育課程に見合った施設にしてはどうか」と提案し、木場田教育長は「検討する」とこたえました。

生田浄水場の存続を求める住民の願い

市議会まちづくり委員会での審査は継続へ



多摩区でたいへんな関心を呼んでいる生田浄水場の廃止問題。「命の水を守るために、生田浄水場の廃止の再検討を求めることに関する請願」の審査が去る八月、川崎市議会環境委員会で行われ、十二月ようやくその会議録が公開されました。会議録の要点を掲載し、問題点を探ります。

(会議録は川崎市議会のホームページで見ることができます)

一部の井戸を保全し 災害用に確保すると川崎市

委員会は3時間以上にわたり、全会派が発言する白熱した議論となりました。

焦点のひとつは、災害時、自己水源をなくして、遠くの水だけで大丈夫なのかということでした。

市は「災害時には、一日約三〇トンくみ上げて緊急給水拠点として利用できるように検討している」「応急給水拠点としての災害用の井戸という形で、少なくとも4カ所か5カ所残すということになると、井戸の水位、水質についても継続して水道局としても調査していく」「緊急用という形になるが、残す井戸については水道局としても責任を持って保全していく」と、災害用とはいえ井戸と井戸水の保全をしていくことを明らかにしました。しかし、水源については、「いろいろなどころから融通し合える体制をつくっているから大丈夫」などと自己水源の必要性を認めませんでした。

長沢浄水場	48.69円
潮見台浄水場	46.57円
生田浄水場	40.88円
神奈川県内 広域水道企業団	約85円

各浄水場の浄水コスト比較

浄水のコストは生田浄水場が一番安い

各浄水場の1立方メートルあたりの浄水のコストについては上表の通りであり、原水に不純物のほとんどない生田浄水場が最も低コストであることが明らかにになりました。



水道企業団への支払いは減らすことができない

委員から、水道企業団からの水を減らして、生田浄水場の水を引き続き利用したら、どのくらい節約になるのか、という質問がありました。市は「企業団の酒匂の創設分、それから宮ヶ瀬のダム開発分など企業団で持っている企業債の残高を含めて、構成団体に負担していかねばいけないので、計算上は減額は可能だが、現実的には基本料金の約80億円は払い続けていかねばいけない」と、結局、過去の大規模投資のツケを払い続けるために、ほかを切り捨てるという構図を露呈しました。

日本共産党の各議員は「遠くの水だけでなく、こんなに近くの自己水源を放棄することは許されない」「過去に明らかに過大な需要予測をして、設備投資をした責任を、自己水源を放棄するという形で市民に押し付けるべきではない」と主張しました。

審議の結果は継続審査に 請願に対する各会派の態度

自民党…今さらバックギアには入れないというのが基本的な考えだが、審査するに当たっての資料やデータというのが不足している。再審査の必要を感じる。…継続

民主党…いただきたい資料もある。再構築計画をきちんと承認してきた部分とはまた別な時点で、この問題を考える部分がある。…継続

公明党…生田を残すのは非常に難しいと思うが、かなりデータが不足している。緊急時の対応ということも、まだかなり疑問視するところもある。…継続

共産党…地下水を残してほしいということは、きょうの議論では変わらなかった。水道局がこれだというのなら、もう一度議論したい。…継続

ネット…生田浄水場を残すのは不可能に近いと理解しているが、自己水源をどのように守っていくのかなど、もう少し推移を見守りたい。…継続

無所属議員…自然の自己水源を守っていくのは、本来ならばそうあるべきだろう。市民に対する説明なり提出していく資料としては非常に不足している。…継続

※ 審査は継続なので、引き続き署名を集め、再度委員会審査させましょう。署名は七千を超え、続々と寄せられています。

子ども達の安全を見守ってくれる 学童等交通誘導員がいなくなりそうです

かつて「みどりのおばさん」といわれていた学童等交通誘導員の制度が今年の三月いっぱいでなくなりそうです。

一日5時間、長い人では二〇年以上も同じ場所に立って、危険な交差点などで子どもたちの安全を守ってくれていました。井口まみ市議は四月以降も、

県の制度から、市の教育委員会の制度に引き継がれるというので、子どもたちの安全のためにきちんと引継ぎがされるのか、十二月議会で質問しました。

ひきつづきやっ てくれるかわからない 学童等誘導員さん

井口市議は「誘導員さんは地域の貴重な宝。なんとしてもひきつづきやってもらいたい。そのためには働き続けられるような条件にしなければならぬ。すべての子どもたちの安全を見届けるためにも、一日5時間は最低条件」と求めましたが、木場田教育長は「現在の方法で続けたい」と答弁。

心配ですし、もし決まらなければPTAの負担になります。すべての危険な交差点に人が配置できるように引き続き、強く求めていきます。

地域交通安全員の制度になっても 変わらず5時間を確保するよう求めました。



毎朝、子どもたちを安全に誘導する地域交通安全員さん

二〇〇九年十二月議会での日本共産党の活動は、別紙の「明るい川崎」でご報告しています。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。